

絶メシ店を救え

新型コロナウイルスで打撃を受けた個人経営の飲食店を支援しようと、外食コンサルティングのミナデン(東京都港区)は8日、高崎市のグルメ情報サイト「絶メシリスト」に掲載される2店などのメニューを販売する食堂を、東京・新橋に開設することを明らかにした。

既存店を日時限定(日、月を除く正午〜午後3時)で「鳥森絶メシ食堂」として、14日に営業を始める。リストに載る「からさき食堂」(同市下小埜町)のオムライス、松島軒(同市若松町)のカレーライスを各

からさき食堂、松島軒

コロナ打撃2店 東京・新橋で提供

900円で提供。売り上げの一部を店に還元する。絶メシリストは地域に長年愛され、失うには惜しい飲食店を紹介する同市のグルメ情報サイト。2017

年の公開後にテレビドラマ化されるなどし、県外に同様の取り組みが広がっている。新型コロナウイルスで来客が減った「絶メシグルメ」を後押ししようと、ミナデンは第1弾として、両店を含む3店からレシビの伝授を受けて販売。今後他店の展開も検討する。

高崎経済大生が多く利用していたからさき食堂は、大学のオンライン授業化で大きな打撃を受けたとし、「東京で働く卒業生にも食べてほしい」と願う。松島軒は「緊急事態宣言で客は激減した。店と味を東京の人に知ってほしい」と訴えた。